

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	愛知学院大学歯科技工専門学校
設置者名	学校法人愛知学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の 単位数	省令で定める 基準単位数	配置 困難
医療専門課程	歯科技工士科 本科	夜・ 通信	72	7	
	歯科技工士科 専修科	夜・ 通信	64	7	
		夜・ 通信			
		夜・ 通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

キャンパスガイドと本校ホームページで公表 HP アドレス : https://gikou.agu.ac.jp/ キャンパスガイド : https://my.ebook5.net/gikousen/8TjLoV/ 科目担当者一覧 : https://gikou.agu.ac.jp/about/information-disclosure/2025032501/index.html
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 歯科技工士学科 (困難である理由) 少子化に伴い、歯科技工士養成校では全国的に収容定員充足率(2026年度充足率の全国平均71%)が依然として低迷していることに加え、本校では広報および学生募集の専任担当者を置いていないため、効果的な広報活動や学生募集活動ができていないと思われる。学生募集の強化が必要であるが、人員の増員など、さらに予算を増やすことが困難である。
--

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	愛知学院大学歯科技工専門学校
設置者名	学校法人愛知学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

法人ホームページで公表 http://www.aichi-gakuin.jp/officer/index.html
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	曹洞宗 宗議会議員	2025/6/17 ～2027 年 6 月開催の定 時評議員会 終結の時ま で	理事
非常勤	曹洞宗 宗議会議員	2025/6/17 ～2027 年 6 月開催の定 時評議員会 終結の時ま で	理事
非常勤	元ジェイアールセント ラルビル株式会社 代表取締役社長	2025/6/17 ～2027 年 6 月開催の定 時評議員会 終結の時ま で	理事
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	愛知学院大学歯科技工専門学校
設置者名	学校法人愛知学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 全国歯科技工士教育協議会が作成した歯科技工学教育モデル・コア・カリキュラムに従い本校のカリキュラムを作成し、講義や実習の各担当者がシラバスを作成する。作成されたシラバスが、カリキュラムに合致しているか点検し、修正が必要な場合は、シラバスを作成した担当者と協議して修正している。シラバスは学内のポータルシステムで公表している。	
授業計画書の公表方法	大学ポータルサイトにて公表 https://gikou.agu.ac.jp/about/information-disclosure/2025032501/index.html
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 出席状況、課題の提出状況および受講態度から学修意欲を測り、講義科目ではレポートや定期試験により評価し、実習科目では実習作品等の提出、実技試験及び筆記試験により評価している。 合格点(60点)未満の学生には、勉強するための一定期間をおいて再試験を実施し、合格点に達したことを確認している。 また、卒業判定についても、卒業試験(学説試験と実技試験)を実施している。不合格(60点未満)の学生に対しては、必要な個別指導を行ったのち再試験を実施し、合格点に達した学生に卒業を認めている。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 講義科目では春学期試験、秋学期試験の成績、実習科目では製作課題等の成績をもって単位認定および進級判定を行い、卒業判定においては卒業試験の成績をもって判定を行っている。 各授業科目の評価は次のとおりで、その分布状況を管理し、HPにて公表している。成績は年度始めに各学生の保証人宛に郵送している。 AA(100～90点)、A(89～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)とし、AA・A・B・Cを合格、Dを不合格とする。 受験資格については、講義では講義回数の2/3、実習では実習回数の3/4以上(遅刻・早退は3回で1回の欠席とみなす)出席しなければ受験資格を失効し評価が行われない。 合格点(60点)未満の学生には、勉強するための一定期間をおいて再試験を実施し、その結果は可または不可で評価している。 なお、やむを得ない理由により受験できなかった場合は本人の願い出により追試験を行っている。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	キャンパスガイドと本校ホームページで公表 HPアドレス：https://gikou.agu.ac.jp/about/information-disclosure/index.html キャンパスガイド：https://my.ebook5.net/gikousen/8TjLoV/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 教育の理念や目標、ディプロマポリシーを定め、本校学則に定められた所定の単位を修得した者に卒業を認定している。 卒業判定は2年次の学年末に行われ、原則として、1・2年次において履修すべき全科目で合格し、さらに卒業試験に合格していなければならない。 卒業試験(学説・実地)では、不合格(60点未満)の学生に対して再試験期間を設けて再試験を実施し、合格点に達した学生に卒業を認めている。 具体的な方法を次に示す。 学説試験では、2つの科目群に分けて試験を実施している。 ①科目群で60%の正答が得られない場合はその科目群 ②科目群2つの合計で60%の正答が得られない場合はすべての科目群 実地試験では、3つの科目で試験を実施している。 ①実習科目で60%の評価が得られない場合はその実習科目 実習科目3つの合計で60%の評価が得られない場合はすべての科目実習 ②実習科目3つの合計で60%の評価が得られない場合はすべての科目実習	
卒業の認定に関する方針の公表方法	キャンパスガイドと本校ホームページで公表 HPアドレス：https://gikou.agu.ac.jp/about/information-disclosure/index.html キャンパスガイド：https://my.ebook5.net/gikousen/8TjLoV/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	愛知学院大学歯科技工専門学校
設置者名	学校法人愛知学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.aichi-gakuin.jp/finance/
収支計算書又は損益計算書	https://www.aichi-gakuin.jp/finance/
財産目録	https://www.aichi-gakuin.jp/finance/
事業報告書	https://www.aichi-gakuin.jp/finance/
監事による監査報告（書）	https://www.aichi-gakuin.jp/finance/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
医療		専門課程		歯科技工士科 本科		歯科技工士			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類						
			講義	演習	実習	実験	実技		
2 年	昼	73 単位	35 単位	3 単位	35 単位	0 単位	0 単位		
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
70 人		21 人	0 人	3 人		56 人		59 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 本校の教育理念、教育目標およびその他のポリシーに基づきカリキュラムを作成している。学年歴、時間割および科目担当者については、前年度の教員会で協議・承認を経て進めている。講義や実習の各担当者により作成されたシラバスが、適正なものとなっているかを点検し、修正が必要な場合は、作成者と協議し、修正する。
成績評価の基準・方法
（概要） 各授業科目の評価は下記のとおりで、その分布状況を管理している。 AA(100～90点)、A(89～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)とし、AA・A・B・Cを合格、Dを不合格とする。 課題の提出状況や授業態度によって学習意欲を図り、講義科目では定期試験の成績あるいはレポートにより評価し、実習科目では課題作品の提出、実習態度、実技試験及び筆記試験等で評価している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 教育の理念や目標、ディプロマポリシーを定め、本校学則に定められた所定の単位を修得した者に卒業を認定している。 卒業判定は2年次の学年末に行われ、原則として、1・2年次において履修すべき全

科目で合格し、さらに卒業試験に合格していなければならない。 卒業試験（学説・実地）では、不合格（60 点未満）の学生に対しては、必要な個別指導を行ったのち再試験期間を設けて再試験を実施し、合格点に達した学生に卒業を認めている。 具体的な方法を次に示す。 学説試験では、2 つの科目群に分けて試験を実施している。 ①科目群で 60%の正答が得られない場合はその科目群 ②科目群 2 つの合計で 60%の正答が得られない場合はすべての科目群 実地試験では、3 つ科目で試験を実施している。 ①実習科目で 60%の評価が得られない場合はその実習科目実習科目 3 つの合計で 60%の評価が得られない場合はすべての科目実習 ②実習科目 3 つの合計で 60%の評価が得られない場合はすべての科目実習
学修支援等 （概要） 新入生特待生制度（2 種）を新設し、経済的支援を強化して修学しやすい環境づくりに努めている。 成績評価によって学修の状況を把握し、学生ごとにきめ細やかな学修アドバイスをを行い、学修意欲を高めるための指導をしている。 必要に応じてマルチパーパス・アワーを活用し、補講、実習の個別指導、再試験および国家試験対策などを行っている。 また、成績不振者には、個別面談や個別の学習指導を適宜行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4 人 (100%)	0 人 (0%)	4 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 歯科医院、歯科技工所			
（就職指導内容） 就職ガイダンスを実施し、就職活動の方法について指導している。企業説明会を受け入れ、学生と企業とが接触する機会を設けている。また、個別面談を実施し、希望する具体的な進路や目標の実現に向けてサポートしている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 歯科技工士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
21 人	2 人	9.5%

(中途退学の主な理由) 学業成績の不振に伴う意欲低下
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務主任、担任やスクールカウンセラーによる面談において学業成績が不振となる原因を探り、マルチパーパス・アワーなどを利用し個別指導を行い、成績の回復・向上を図っている。

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士		
医療		専門課程	歯科技工士科 専修科		歯科技工士				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類						
			講義	演習	実習	実験	実技		
2 年	昼	64 単位	11 単位	4 単位	49 単位	0 単位	0 単位		
学生総定員数		学生実員	うち留学生数		専任教員数		兼任教員数		総教員数
40 人		2 人	0 人		3 人		50 人		53 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 本校の教育理念、教育目標およびその他のポリシーに基づきカリキュラムを作成している。学年歴、時間割および科目担当者については、前年度の教員会で協議・承認を経て進めている。講義や実習の各担当者により作成されたシラバスが、適正なものとなっているかを点検し、修正が必要な場合は、作成者と協議し、修正する。
成績評価の基準・方法
（概要） 各授業科目の評価は下記のとおりで、その分布状況を管理している。 A A (100～90 点)、A (89～80 点)、B (79～70 点)、C (69～60 点)、D (59 点以下) とし、 A A・A・B・Cを合格、Dを不合格とする。 課題の提出状況や授業態度によって学習意欲を図り、講義科目ではレポートにより評価し、実習科目では課題作品、出席状況、実習態度および臨床報告の発表にて評価している。合格点（60 点）未満の学生には、個別指導を行い合格点に達したことを確認している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 教育の理念や目標、ディプロマポリシーを定め、本学学則に定められた所定の単位を修得した者に卒業を認定している。 進級判定は1年次の学年末に行われ、原則として、その学年において履修すべき全科目に合格していなければならない。 卒業判定は2年次の学年末に行われ、原則として、1・2年次において履修すべき全科目に合格していなければならない。
学修支援等

(概要) 臨床技工実習を中心としたカリキュラムとなっているため、各学生の学修状況に合わせたきめ細やかな実技指導を行っている。学生の学習進度に応じてマルチパーパス・アワーを活用した個別指導を行い、成績不振者には、個別面談や個別の学習指導を適宜行っている。 また、担当したい症例の希望調査を実施して学修意欲を高める実習内容としている

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (100%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 歯科医院、歯科技工所			
(就職指導内容) 就職ガイダンスや企業説明会を実施し、就職活動の方法についての指導や企業紹介をしている。就職支援においても個別面談を実施し、希望する具体的な進路や目標の実現に向けてサポートしている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 歯科技工士			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3 人	1 人	33%
(中途退学の主な理由) 病気のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 随時、個別面談を行うことで、中途退学につながる兆候を把握するようにしている。面談から各学生に合わせた個別指導や休学など冷静に考える時間を作ることで、安易な退学防止に努めている。 必要があれば、保健室を通じてスクールカウンセラーのカウンセリングへつなげている。		

②学校単位の情報

a)「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
本科 1 年	200,000 円	800,000 円	275500 円	
本科 2 年	円	800,000 円	265000 円	
専修科 1 年	200,000 円	800,000 円	275500 円	
専修科 2 年	円	800,000 円	265000 円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 下記の URL より自己点検・自己評価報告書が確認できます。 https://gikou.agu.ac.jp/about/information-disclosure/selfassessment/index.html		
第三者評価の基本方針（実施方法・体制）		
第三者評価については現在検討中であるため実施しておらず、学校関係者にて自己点検・自己評価を実施している。評価の基本方針として以下を記載する。 学校の現状を把握するため、教育の目標およびポリシーに沿った授業アンケートを実施、集計した結果を自己評価委員会へ報告している。自己評価委員会は、顧問、校長、歯学部附属病院技工部 歯科技工士長、歯学部事務長、その他校長が指名する者（学外者を含む）から構成され、授業アンケートや学校の現状などをもとに下記の 6 項目の評価と今後の改善策および方針について協議し、報告書にまとめている。 【評価項目】 (1)教育理念・目的・目標、(2)教育課程、教育の実施、学修成果、(3)学生の受け入れ、(4)教育実施組織・教員、(5)教育環境、(6)教育活動の基盤と改善・向上の取組 自己評価委員会で作成した報告書を教員会へ報告し、改善策を協議し、その結果を学生支援、授業の改善、学習環境の整備などより良い学校づくりに活かしている。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
愛知学院大学歯科技工専門学校	2026/4/1～2027/3/31	顧問
愛知学院大学歯学部附属病院	2026/4/1～2027/3/31	附属病院歯科技工部 歯科技工士長
愛知学院大学歯学部事務室	2026/4/1～2027/3/31	事務長
第三者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 第三者評価は実施していない		
（備考）		

--

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://gikou.agu.ac.jp/>